

1. 科目名（単位数）	第二言語習得理論演習（2単位）	3. 科目番号	EIJP3341
2. 授業担当教員	松浦 康世		
4. 授業形態	講義、演習（グループワーク、ディスカッションなど）	5. 開講学期	秋期
6. 履修条件・他科目との関係	「第二言語習得理論」を必ず受講しておくこと。 →「第二言語習得理論」を履修済であることが望ましい。		
7. 講義概要	第二言語習得理論を踏まえ、更なる実践的な教育能力を身につけると共に、研究能力養成を目指す。本講座では、英語教育や日本語教育などの外国語教育と第二言語習得研究の間にどのような関係があるのかを考えると共に、第二言語習得について、どのような研究や報告がなされているのか知見を深める。そのための方法として、紹介した論文や自分が興味のある論文を選び、それについてまとめ、発表する。		
8. 学習目標	・第二言語習得についての論文を読み、最近の研究の動向を知る。 ・外国語教育の場で第二言語習得がどのように応用されているか考える。 ・外国語学習体験について第二言語習得を通して考える。		
9. アサインメント（宿題）及びレポート課題	1. 第二言語習得や外国語教育に関する研究論文を検索し、要約を書く。（10点×2回） 2. 第二言語習得や外国語教育に関して自分でテーマを決めて研究し、報告書を作成する。（40点） 3. 研究調査の結果をクラスで発表する。（10点）		
10. 教科書・参考書・教材	【教科書】授業内でプリントを配布する。 【参考書】授業内で適宜紹介する。		
11. 成績評価の規準と評定の方法	○成績評価の規準 1) 第二言語習得についての論文を読み、最近の研究の動向について自分のことばで説明できるようになったか。 2) 外国語教育の場で第二言語習得がどのように応用されているかについて説明できるようになったか。 3) 外国語学習体験について第二言語習得を通して考えたことを説明できるようになったか。 ○評定の方法 以下の点を総合して評価する 1 授業への参加態度 総合点の30% 2 試験（小テスト・期末テスト・口頭発表試験 等） 総合点の30% 3 提出課題（レポート等） 総合点の40% なお、本学規定により、3/4以上の出席が確認できない場合は単位の修得は基本的に認められない。		
12. 受講生へのメッセージ	「第二言語習得理論」で学んだことが教育現場でどのように応用されているのかを、研究者たちの論文を読み、自分自身の体験と重ね合わせることににより、考察を深めてほしい。		
13. オフィスアワー	初回の授業で周知する。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	ガイダンス（学習の進め方、課題、評価方法）	事前学習	シラバスを読み、講座の概要を理解する。
		事後学習	時間割に沿って学習計画を立てる。
第2回	課題の説明（研究の手順、報告書の形式）	事前学習	「第二言語習得理論」の復習をする。
		事後学習	研究テーマを考える。
第3回	論文検索の方法、研究方法と分析の種類	事前学習	研究方法と分析方法について調べておく。
		事後学習	研究方法を考える。
第4回	研究テーマ決定、テーマについて話し合い	事前学習	研究テーマと研究方法を決定する。
		事後学習	研究テーマと研究方法について再検討する。
第5回	論文引用の方法	事前学習	研究テーマに関する論文を検索する。
		事後学習	論文で使われている引用の表現を確認する。
第6回	テーマに関する論文検索① 概要発表	事前学習	テーマに関する論文を検索し、要約を書く。
		事後学習	クラスで出された意見を記録しておく。
第7回	テーマに関する論文検索② 概要発表	事前学習	テーマに関する論文を検索し、要約を書く。
		事後学習	クラスで出された意見を記録しておく。
第8回	研究の目的と方法を書く、研究準備	事前学習	研究の目的と方法をリストアップする。
		事後学習	研究の目的と方法の段落を完成させる。
第9回	研究調査の進捗状況報告	事前学習	研究調査を開始する。
		事後学習	研究調査を進める。
第10回	結果と考察を書く	事前学習	結果を整理し、分析する。
		事後学習	結果と考察の段落を完成させる。
第11回	研究報告書作成	事前学習	目的、方法、結果、考察の文章を確認する。
		事後学習	指示に従って報告書を作成する。
第12回	研究報告書の確認と提出	事前学習	研究報告書のドラフトを完成させる。
		事後学習	文章を推敲し、提出する。
第13回	研究報告書修正、発表用資料作成	事前学習	クラスで指摘された箇所を修正する。
		事後学習	発表用資料を完成させる。
第14回	口頭発表、意見交換、講評	事前学習	口頭発表の資料を確認する。
		事後学習	クラスの意見を受けて再検討する。
第15回	まとめ、研究報告書提出	事前学習	報告書を完成させる。
		事後学習	研究報告書と発表用資料を提出する。